

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月30日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区港2丁目5番8号

氏 名 株式会社内藤工務店  
代表取締役 青池 美和

電話番号 092-751-1631

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社内藤工務店
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区港2丁目5番8号
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

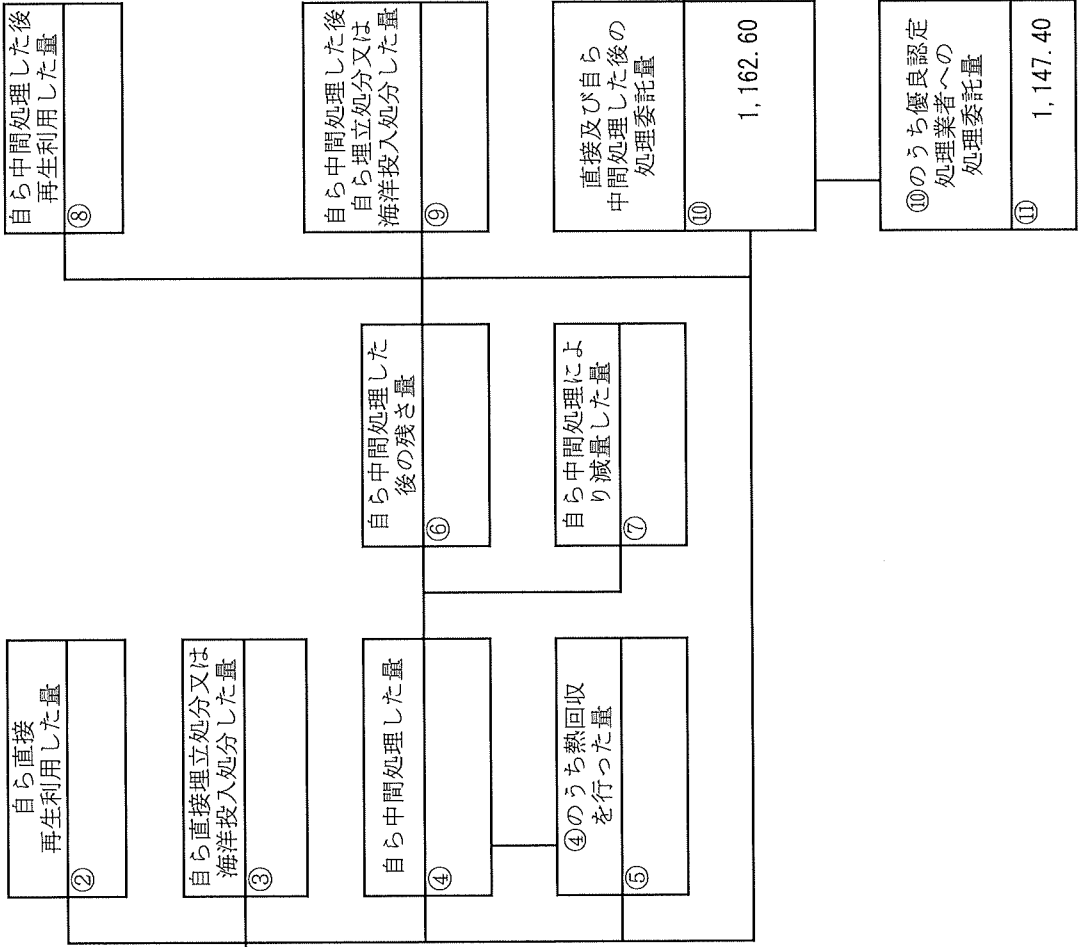
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,598.7 t	全処理委託量	4,598.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4,267.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(産業廃棄物の種類： コンクリートから )

計画の実施状況

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	① 1,182.60
実績値	
①排出量	1,182.60 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1,162.60 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,147.40 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,162.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑬ 1,162.60

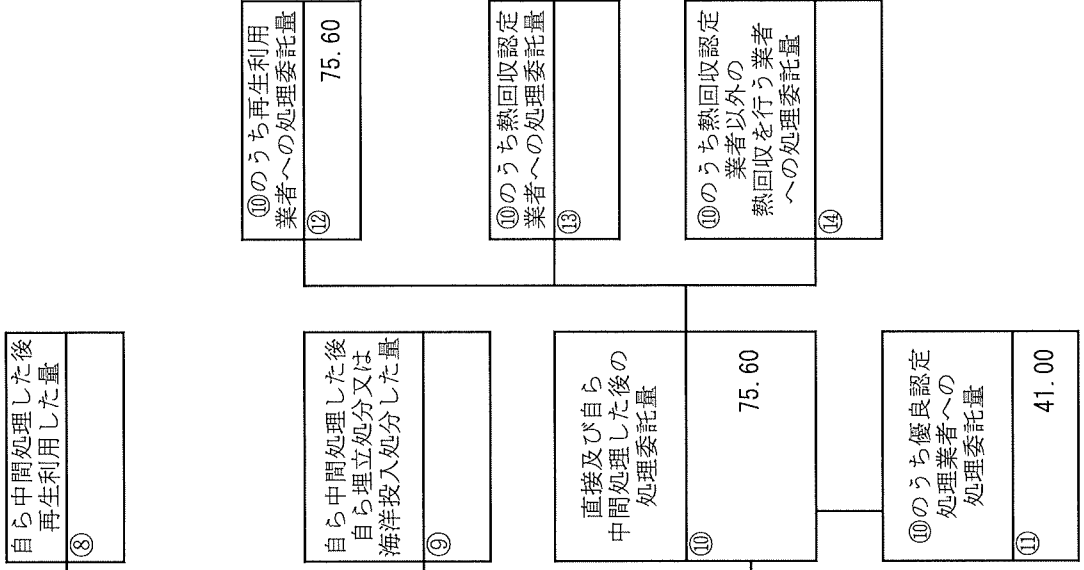
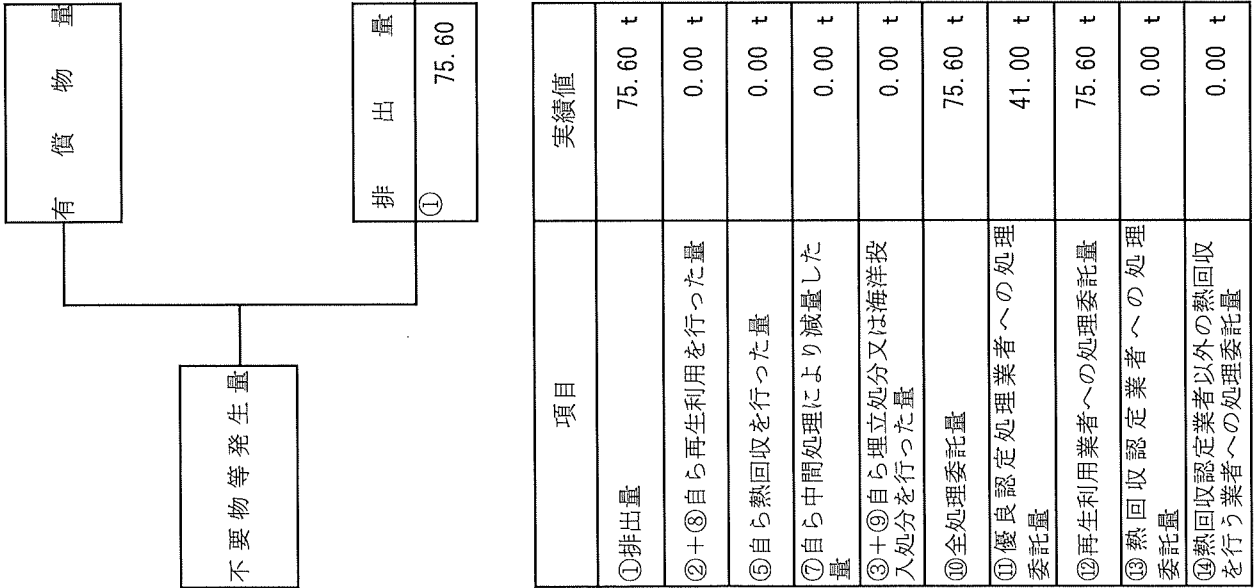
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 1,147.40

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスコンから )



自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③

排出量  
① 75.60

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥

自ら中間処理した量  
④

項目  
実績値  
①排出量 75.60 t

自ら中間処理により減量した量  
⑦

④のうち熱回収を行った量  
⑤

②+③自ら再生利用を行った量 0.00 t  
⑤自ら熱回収を行った量 0.00 t  
⑦自ら中間処理により減量した量 0.00 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 75.60

③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0.00 t

③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0.00 t  
⑩全処理委託量 75.60 t  
⑪優良認定処理業者への処理委託量 41.00 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 41.00

②自ら直接再生利用した量  
③

⑫再生利用業者への処理委託量 75.60 t  
⑬熱回収認定業者への処理委託量 0.00 t  
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0.00 t

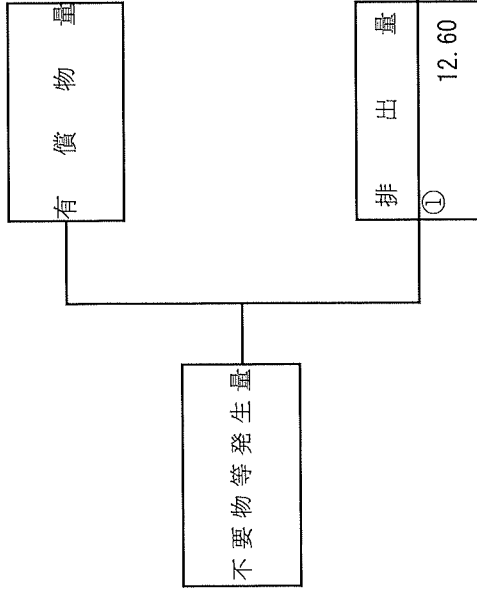
⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 75.60

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

(産業廃棄物の種類 : その他がれき類 )

計画の実施状況

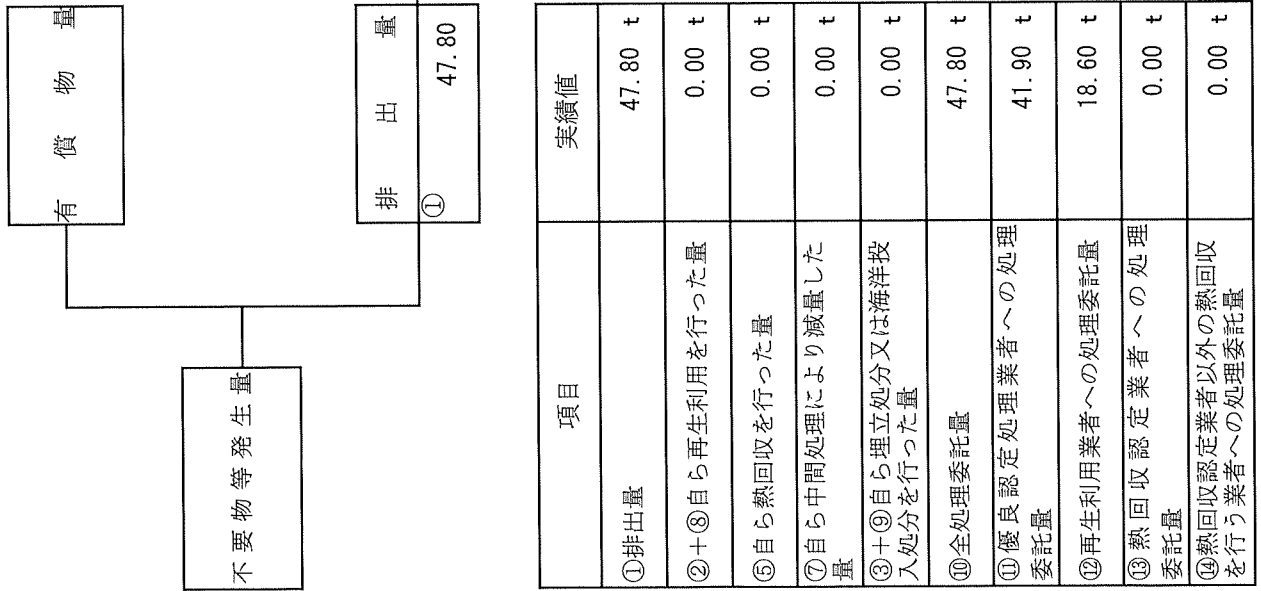


項目	実績値
①排出量	12.60 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	12.60 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.10 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.80 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら直接再生利用した量 ②	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑬
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後の残さ量 ⑦	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑭
自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量 ⑭
④のうち熱回収を行った量 ⑤	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩	
	12.60	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	
	11.10	

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 )

計画の実施状況



自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 18.60

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 47.80

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 41.90

自ら直接再生利用した量  
②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥

自ら中間処理により減量した量  
⑦

自ら中間処理した量  
④

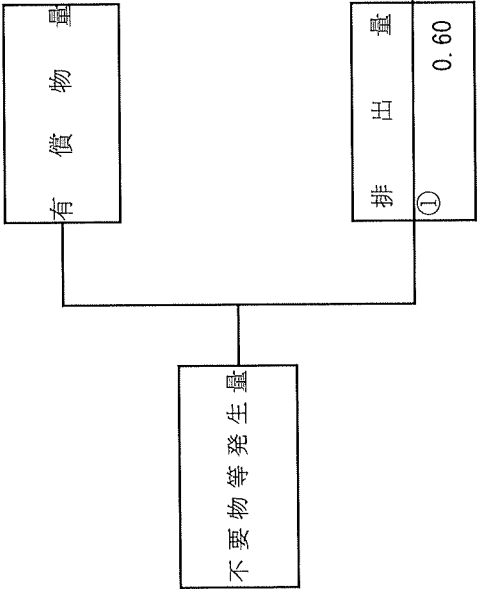
④のうち熱回収を行った量  
⑤

排出量  
① 47.80

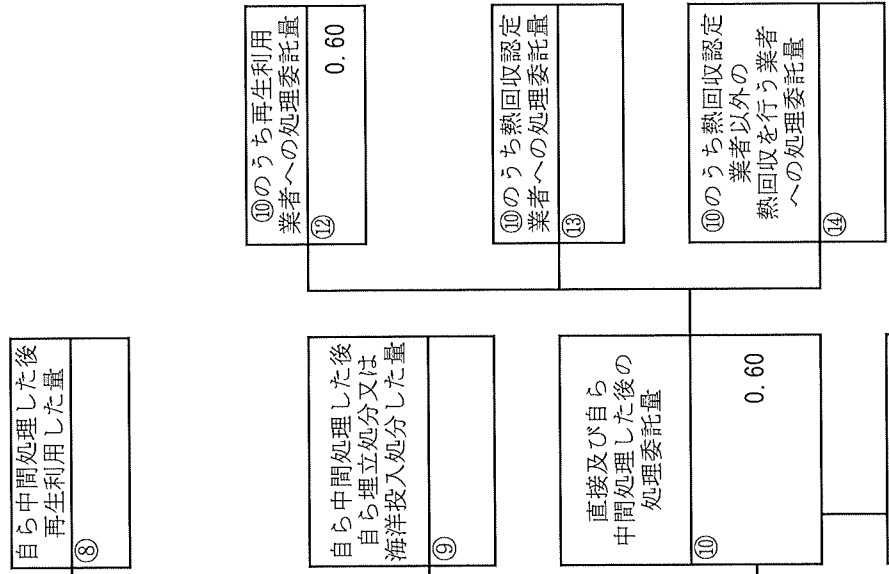
項目	実績値
①排出量	47.80 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	47.80 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.90 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

( 産業廃棄物の種類 : 金属くず )

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	0.60 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.60 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.60
-------------------	------

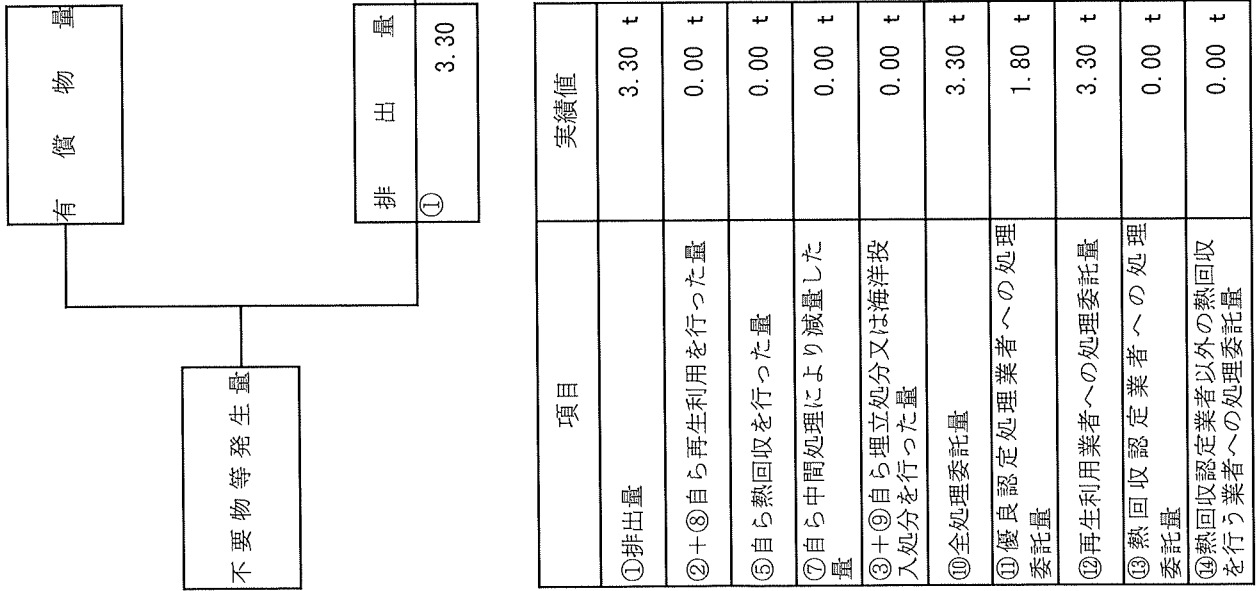
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
--------------------	--

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	
----------------------------------	--

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.00
---------------------	------

(産業廃棄物の種類： 紙くず )

計画の実施状況



自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 3.30

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 3.30

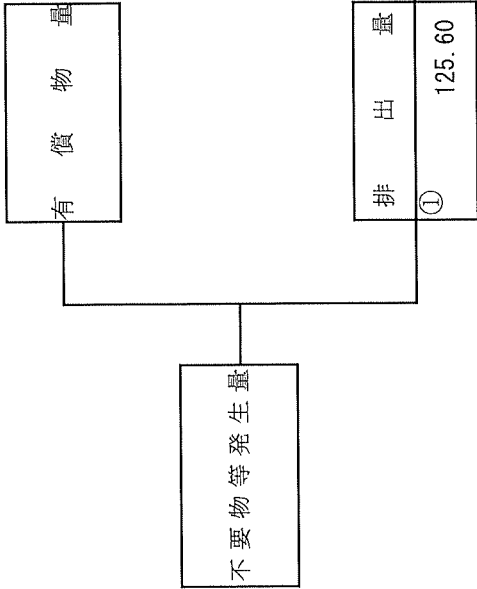
⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 1.80

項目	実績値
①排出量	3.30 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3.30 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.80 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.30 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： 木くず )

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	125.60 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	125.60 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.20 t
⑫再生利用業者への処理委託量	125.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の業者へ行う業者熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

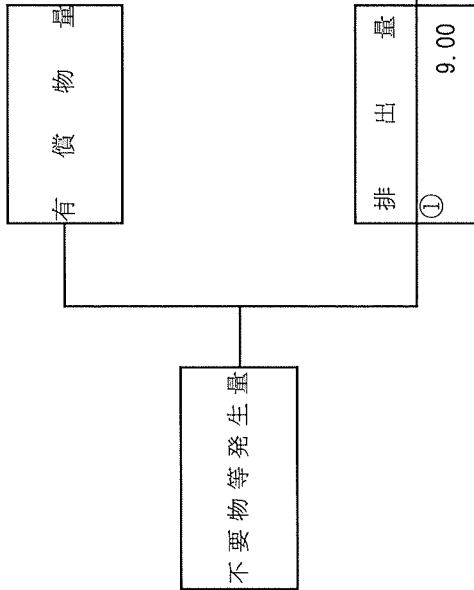
自ら直接再生利用した量 ②	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑮ 125.60
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後の残さ量 ⑦	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬
自ら中間処理した量 ④	④のうち熱回収を行った量 ⑤	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ行う業者熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭
自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩	
自ら中間処理した後は埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨	125.60	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 42.20	



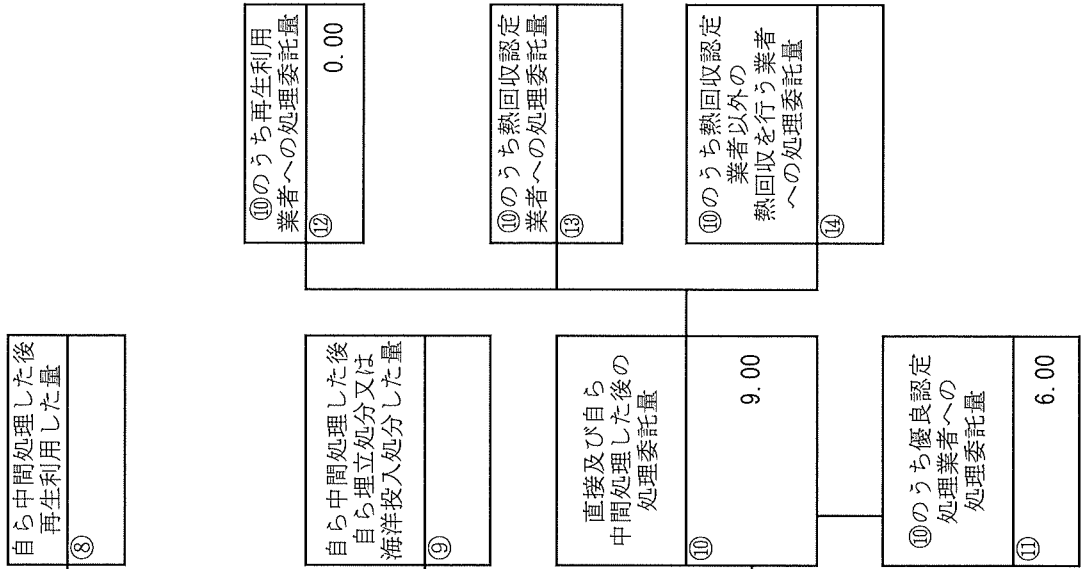


(産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器くず )

計画の実施状況

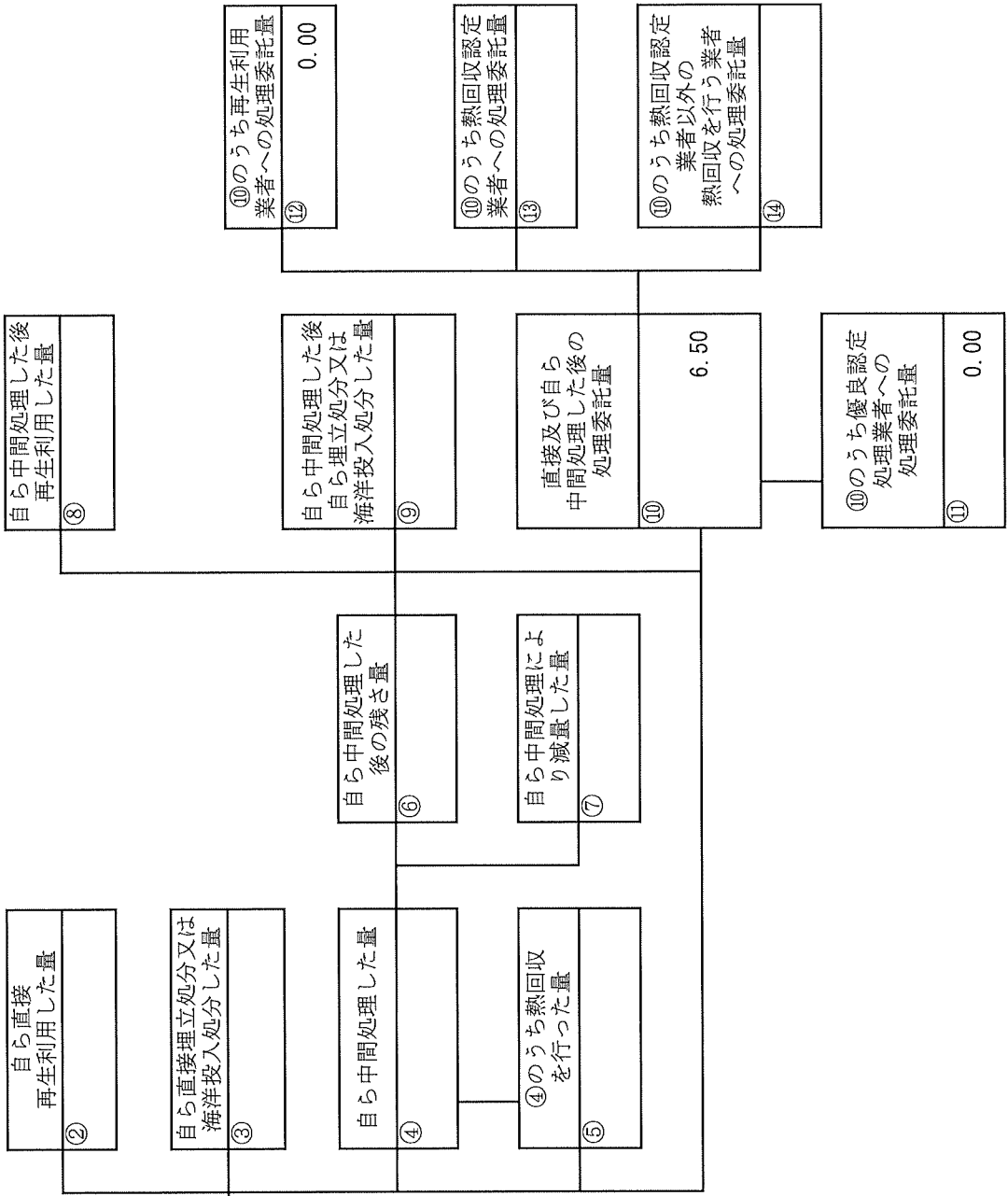
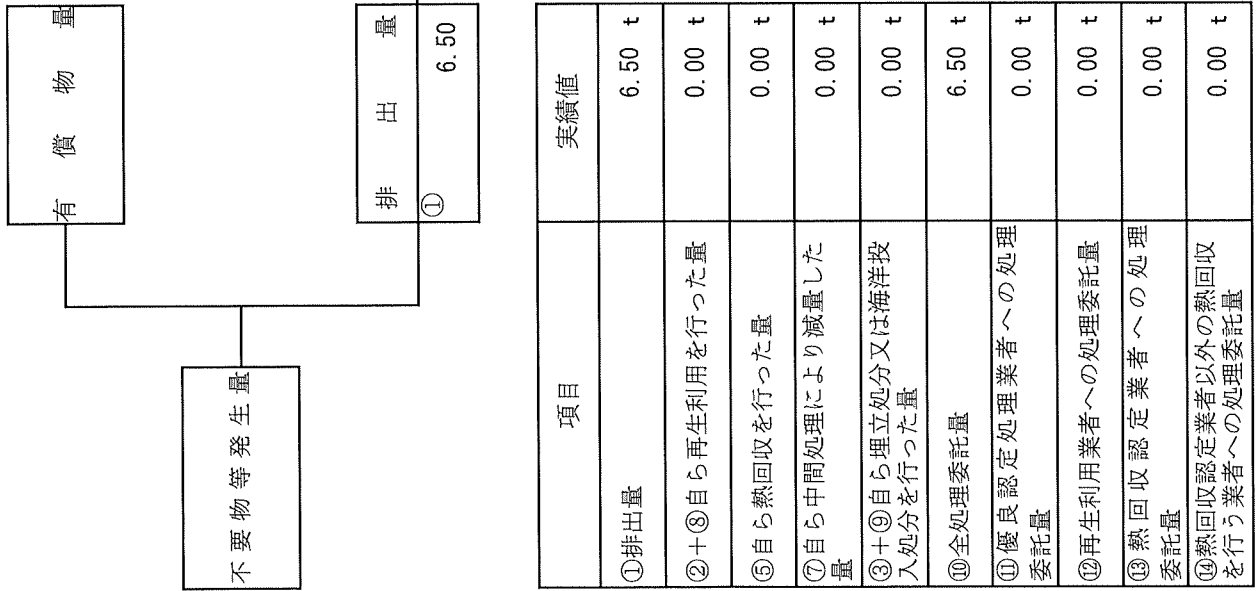


項目	実績値
①排出量	9.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	9.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



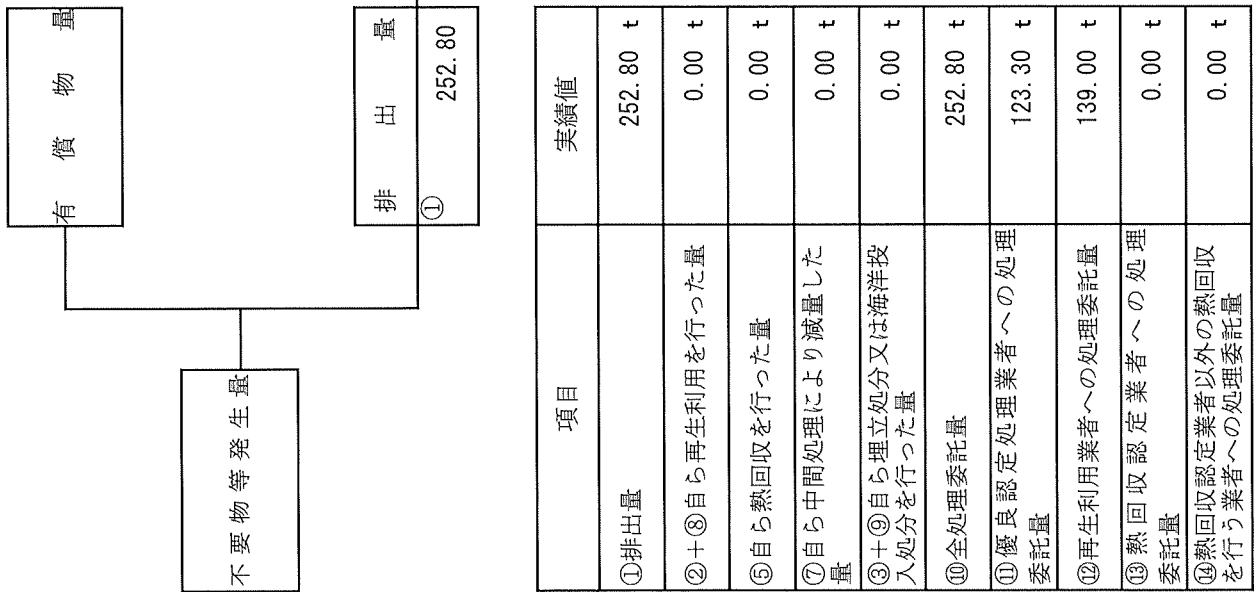
(産業廃棄物の種類 : ガラス陶磁器くず (石綿含有) )

計画の実施状況



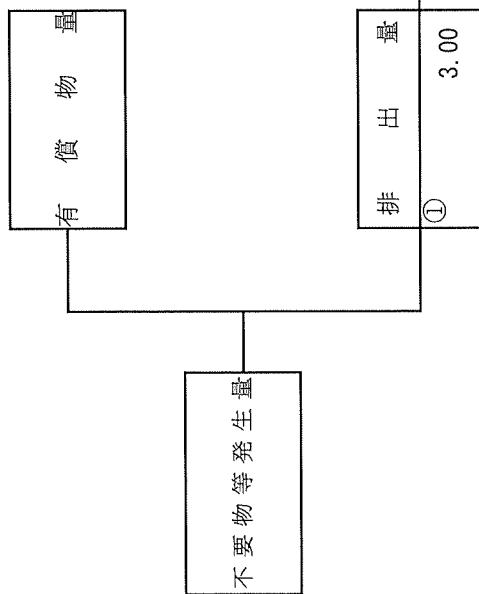
(産業廃棄物の種類： 管理型建設混合廃棄物 )

計画の実施状況



( 産業廃棄物の種類 : 廃石綿等 )

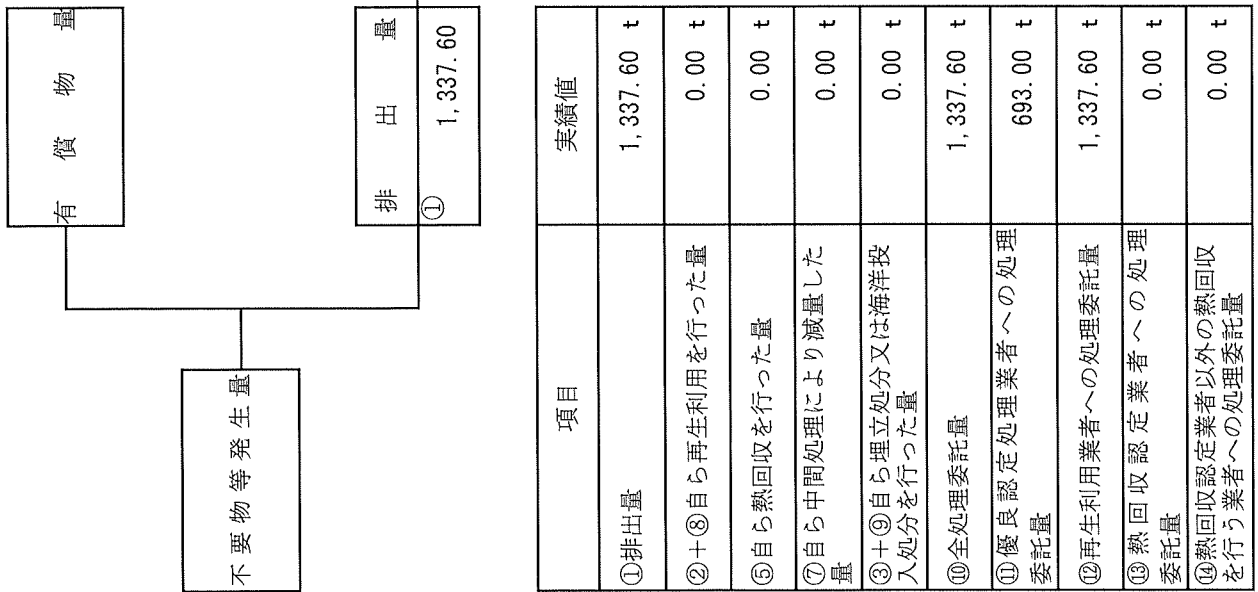
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	3.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥 )

計画の実施状況



排 出 量	1,337.60
①	

項目	実績値
①排出量	1,337.60 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1,337.60 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	693.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,337.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	1,337.60
⑫	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へを行う業者熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	693.00
⑪	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区港2丁目5番8号

氏 名 株式会社内藤工務店

代表取締役 青池 美和

電話番号 092-751-1631

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社内藤工務店
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区港2丁目5番8号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	事業内容：建築工事一式 資本金：5,000万円
③従業員数	37名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンクリート破片、ガラス、陶磁器くずは再生骨材等に使用する。</li><li>・木くずは合板用チップ等に再生利用する。</li><li>・金属くずは再生利用のための分別を徹底する。</li><li>・作業所内での分別を推進し、混合廃棄物となる割合の低減を図る。</li></ul>



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	1182.6 t	75.6 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	887.0 t	56.7 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、設計及び施工計画段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法を採用		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事等で発生するコンクリートがら、アスコンがらは現場で分別し、搬出を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も引き続き、解体工事等で発生するコンクリートがら、アスコンがらは現場で分別し、搬出を行う

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス陶磁器くず
	排出量	12.6 t	9 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	排出量	9.5 t	6.8 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、設計及び施工計画段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法を採用		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) その他がれき類、ガラス陶磁器くずは分別無し
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) その他がれき類、ガラス陶磁器くずは今後も分別の予定無し

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	47.8 t	0.6 t
	(これまでに実施した取組) 工場で建築資材を加工し、現場での端材の発生を抑制		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	35.9 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、工場で建築資材を加工し、現場での端材の発生を抑制		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くずは分別を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くずは今後も分別を実施

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	3.3 t	125.6 t
	(これまでに実施した取組) 施工材料の搬入数量を適正に管理し、再使用できる梱包材の使用を図り、梱包ごみの発生を抑制		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	2.5 t	94.2 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、施工材料の搬入数量を適正に管理し、再使用できる梱包材の使用を図り、梱包ごみの発生を抑制		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くずは分別を行い、木くずは専用のコンテナ、バックを設置し分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も引き続き、紙くずは分別を行い、木くずは専用のコンテナ、バックを設置し分別

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	排 出 量	- t	190.7 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	排 出 量	- t	143.0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、廃棄物の発生抑制を考慮した工法を採用		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃石膏ボードは専用のコンテナ、バックを設置し分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も引き続き、廃石膏ボードは専用のコンテナ、バックを設置し分別

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず(石綿含有)	その他がれき類(石綿含有)
	排出量	6.5 t	- t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず(石綿含有)	その他がれき類(石綿含有)
	排出量	4.9 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラス陶磁器くず(石綿含有)は専用のコンテナ、バックを設置し分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も引き続き、ガラス陶磁器くず(石綿含有)は専用のコンテナ、バックを設置し分別

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	建設汚泥
	排出量	252.8 t	1337.6 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	建設汚泥
	排出量	189.6 t	1003.2 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別無し
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、分別の予定無し

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙1のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	排出量	3.0 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		
②計画	【目標】前年度の排出量の75%を目標値とする		
	産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	排出量	2.3 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、廃棄物の発生抑制を考慮した工事方法を採用		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃石綿等は専用のコンテナ、バックを設置し分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も引き続き、廃石綿等は専用のコンテナ、バックを設置し分別





